

平成18年度 鳥取大学附属小中学校研究大会

理科部 分科会

かかわり合う力、適切に判断する力、
自分を生かす力を培う理科の授業
- 話し合い活動に視点をあてて -

1 昨年度の研究より

- 昨年度研究テーマ

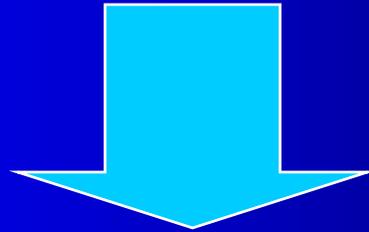
「学ぶ意欲を育み、実践的な行動力を身につける理科の学習」「活動」「課題」からの授業づくりに

- 「実践的な行動力」

目的意識をもって課題の追求を行うことができる力」

活動について

- 「活動」 「その感動の再体験を期待して行う行為」



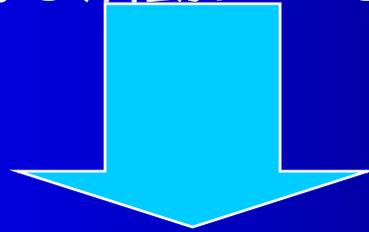
- 「学ぶ意欲」 「自然に対する感動体験の欲求」

- **具体例**

- ・ 思考の足跡が残るノート作り
- ・ 自由試行・ジグゾー学習を取り入れることにより感慨を深化させやすい学習場面の設定
- ・ 仮説をすぐ確かめられるように課題解決に有効な自作実験器具を与えること

課題について

- 「課題」 「児童・生徒が共通の目的意識をもって検討するいくつかの事項であり、具体的な活動につながるもの」



- 「実践的な行動力」
「目的意識をもって課題の追求を行うことができる力」

● 具体例

- ・ 素朴概念や思いついたことを確かめる活動を繰り返させる中で、より意味ある新たな課題を見つけさせ、さらなる実験を通して学習課題を深めていくような授業を構成すること
- ・ 理科工作を中心とする学習課題を提示し、それを実現するために科学的に重要な法則の発見が必要であるような授業を構成すること

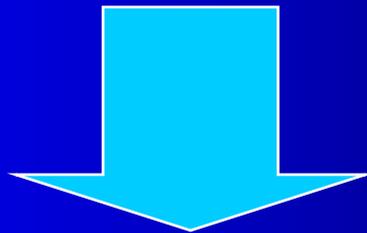
2 「かかわり合う力」

「適切に判断する力」

「自分を生かす力」について

「かかわり合う力」について

- 「コミュニケーション能力の育成」



- 自然・それをもとにした教材を通して人と
かかわる力

「適切に判断する力」について

- 具体的に「活動」「課題」に取り組むことそれ自体が力を培う

「自分を生かす力」について

- 自然に関して学んだことを生かして新しい課題を解くこと
- 新しい課題に向けて、より高めていこうとすること

「3つの力を培うために」 ～ 授業構成の工夫～

- 授業の中で、3つの力を伸ばす場面・力を見取る手段方法を意図的に位置づけていくこと
- 具体的な児童生徒の学ぶ姿を頭に描きながら、どの力を培うことにつながるのか考えていくこと

1 話し合い活動について

コミュニケーション能力

「自分の考えを整理し分かりやすく説明するために工夫することのできる力」

「他者の考えを事実にもとづいて判断しながら受け止められることのできる力」

理科学習での話し合い活動

- 教材・教材の提示の仕方の工夫
- 児童生徒にどんな準備をさせるか（個人・グループ・全体）
- どんな「活動・課題」を作っていくか

話し合い活動で大切にすること

- 見たもの・観察したものについて、主体的に議論に参加する
- 自分自身の見方・考え方を見直し再構成していく
- 科学的な見方や考え方が培われていく